

住まいの防犯対策

全国で住宅対象の侵入窃盗事件や強盗事件が発生しています。あなたの家の防犯は大丈夫ですか？「住まいの防犯対策」について再確認してみましょう。

裏面「チェックシート」で確認！

参考資料 どのように侵入されるの？（全国の侵入窃盗の状況（令和5年））

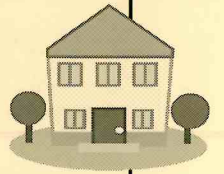
◆侵入口

	1位	2位	3位
一戸建住宅 (13,490件)	窓 (55.2%)	表出入口 (20.2%)	その他出入口 (14.8%)
共同住宅(3階建以下) (3,213件)	表出入口 (46.7%)	窓 (38.9%)	その他出入口 (2.9%)
共同住宅(4階建以上) (1,676件)	表出入口 (61.5%)	窓 (24.3%)	その他出入口 (1.1%)

◆侵入手口

	1位	2位	3位
一戸建住宅 (13,490件)	無締り (46.3%)	ガラス破り (35.8%)	合かぎ (2.6%)
共同住宅(3階建以下) (3,213件)	無締り (49.9%)	ガラス破り (18.5%)	合かぎ (13.5%)
共同住宅(4階建以上) (1,676件)	無締り (41.6%)	合かぎ (20.2%)	ガラス破り (10.2%)

(資料:住まいの防犯110番、警察庁)



STOP! 闇バイト応募



インスタグラム ティックトック エックス
SNS (Instagram、TikTok、 X など) で「簡単に高収入が得られる」などという投稿や広告、これは**闇バイト(犯罪実行者募集)**かもしれません！応募すると、個人情報に要求され、個人情報をもとに脅迫され、犯罪に加担させられたり、お金を要求されたりする可能性があります。“うまい話”には注意してください。

<ポイント>



- 「高額」「即日即金」「ホワイト案件」などという文言は要注意
- 匿名性の高いアプリに誘導されたら要注意
- 安易に身分証明書の画像を送ったり、個人情報を教えない
- 犯罪に加担する前に勇気を持って抜け出し、すぐに警察に相談

～ 住まいの防犯対策チェックシート ～

外 周

- 周囲からの見通しがよい**
高い塀や植栽は一度内部に侵入されると、侵入者が窓やドアの破壊をする目隠しとなります。見通しのよい乗り越え困難な柵が有効です。
- 防犯カメラや録画機能付きインターホン等が設置されている**
侵入者は記録されることを嫌います。防犯のためには「防犯カメラ作動中」など録画していることを明らかにしておくことが有効です。
- 周囲が明るい**
門灯や玄関灯、センサーライト等で明るい家は侵入されにくくなります。
- 家に防犯ブザーがあったり、周囲に防犯砂利が敷かれている**
音は侵入者に侵入を諦めさせたり、住人が早めに侵入者に気がつく手助けになります。
- 玄関以外の出入口も防犯対策が取られている**
勝手口やベランダ、風呂やトイレの窓などは、玄関と比べて防犯対策がおろそかになりがちです。玄関だけでなくその他の出入口の防犯対策も重要です。
- 2階への足場がない(戸建て住宅)**
雨どいや配管、電柱、エアコン室外機、カーポート、物置等が2階への足場になることがあります。
- 屋上に立ち入ることができない(共同住宅)**
屋上の出入口に施錠設備や柵等がない場合、ベランダへの侵入経路となり、上層階に住んでいても注意が必要です。

設 備

- 防犯性能の高い建物部品(CP部品)を使用している**
防犯性能試験をパスした部品には「CPマーク」が与えられます。侵入に時間を掛けさせ侵入者に諦めさせたり、通報の時間を稼げます。(例：壊されにくい材質のドア、壊されても貫通しにくいガラスや防犯フィルム、面格子、窓シャッター、解錠しにくい錠など)

心 構 え

- 周囲が整理整頓されている**
周囲が整理整頓されている家は、不審者が侵入した際の異変に気づきやすくなります。郵便受けに物が溜まっていると長期不在と思われターゲットにされる可能性があります。周囲の整理整頓に心がけましょう。
- 外出時だけでなく、在宅時も施錠している**
ちょっとしたゴミ出しなどでも施錠をしましょう。在宅していても玄関や人のいない部屋の施錠をし、モニターやドアスコープ等で相手を確認してから開けましょう。夏場、寝る際も窓の開放には注意しましょう。
- 近所づきあいがある**
侵入者が犯行や下見に来た際、「近所の人に声を掛けられたり、ジロジロ見られた」という理由で犯行を諦める場合があります。普段からあいさつ、声かけを行い、近所づきあいをしておくことが地域全体の防犯につながります。
- 鍵を郵便受や植木鉢に隠していない**
鍵のありかが分かればすぐに侵入されてしまいます。
- 安易に訪問販売や買取に応じない**
貴金属の買取業者を装って貴金属のある家庭を調査したり、家の修理業者を装って資産を聞き出そうとしたりするなど、下見の可能性があります。不要な場合はきっぱり断り余計な情報を与えないようにしましょう。